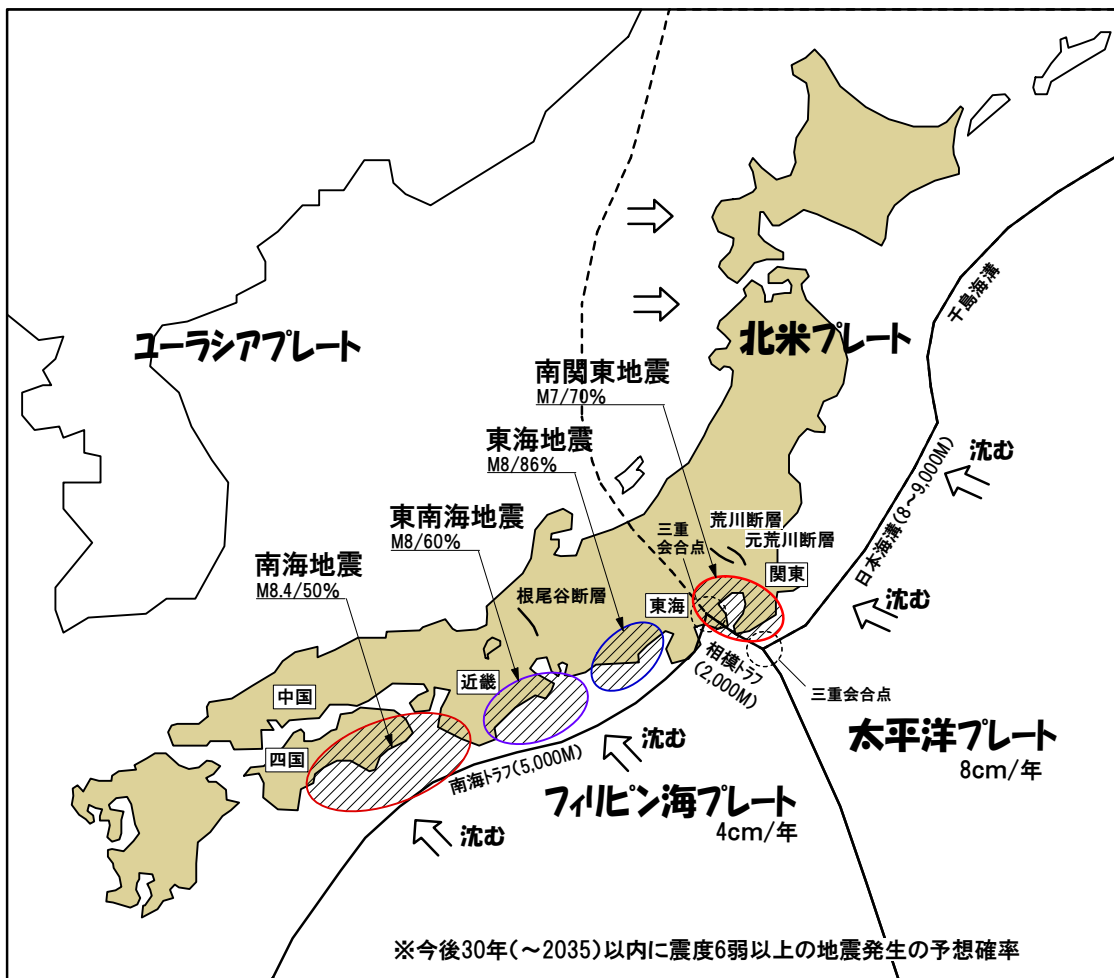


日本の地震発生地帯と今後の予想



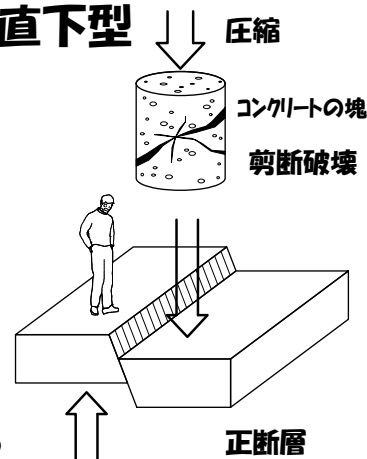
海溝型地震/プレート境界型

- ・巨大地震になる (M7以上)
- ・津波発生
- ・100年ぐらいの定期的周期で発生



内陸型地震/断層型・直下型

- ・M5～7 規模
- ・震源が都市の周辺にあると規模は小さくても大被害となる
- ・阪神淡路大震災(M7.3)
- ・断層は将来その部分で再び地震の起こり得る可能性のある為 <活断層>と呼ばれる。日本には無数の活断層がある



ちょっと一息 coffee break

- ① 日本の風土面積は世界陸地の1%未満
 ・But 世界中で発生する地震の10%以上
 ・599年(推古天皇大和地震)より昭和39年(1964年)新潟地震までの1366年間で記録に残る大地震は392回発生

3.5年に1回は大地震が発生しています (>_<)
 震度4～5程度の地震は8ヶ月に1回発生
 有感地震は日本中で毎日何回も起きている

バタバタ騒いでも始まらないが、対策はきちんと立てておく必要がある
 (1人の人が交通事故に遭う確率 = 30年で20%) に比較するとはるかに大きい
 火災や事故で死亡する確率 = 30年で0.2%)

- ② プレートは厚み約100km、人間の生態帯は約5km
 地球の直径12,800km 100km:12,800km=1mm:128mm
 直径12.8cmのメロンの皮1mmがプレート
 直径256cmの球の皮1mmが人間の生態帯